

様式1 (学校法人用)

令和 4年 5月 6日

「学校関係者評価」の実施状況報告書

(宛先)

埼玉県知事 大野 元裕 様

主たる事務所

所在地 埼玉県入間郡越生町越生 950

学校法人名 信愛学園

理事長名 武内政文 印

電話番号 049-292-2106

幼稚園の学校関係者評価の実施状況については、下記のとおりです。

記

1. 実施済み

幼稚園名
越生みどり幼稚園
幼稚園

2. 実施なし

(理由 複数回答可)

- 1 実施方法がわからない
- 2 実施する時間的余裕がない
- 3 法令上の義務または努力義務であることを知らなかった
- 4 現時点で評価を実施するメリットや必要性を感じない
- 5 その他 ()

学校評価シート（自己評価）令和3年（2021年度）

越生みどり幼稚園

1、園の教育目標

【幼稚園教育目標】「JOY HOPE LOVE」 喜びと希望と愛をもって育つ子

- げんきな子 《健康な心と体》
 - *幼稚園を楽しむ(すみれ) 楽しんで遊ぶ(ゆり) 楽しんでいっしょに遊ぶ(きく)
 - ・進んで遊びや運動を楽しむ ・遊びを通して豊かな感性や表現を身に着ける。
- 考える子《学びに向かう力》
 - *心動かす体験をする(すみれ) 自分でやりたいことが生まれる(ゆり)
 - 最後までやり遂げる力を持つ(きく)
 - ・自分の力で考えて行動する ・みんなで決めた約束を守る ・目を見てお話を聞く
- なかよくできる子 《協同性》
 - *お友だちに気づく(すみれ) お友だちに気づいて気持ちを伝える(ゆり)
 - お友だちの気持ちを受け止め思いを伝え合う(きく)
 - ・友達といっしょに遊ぶ・相手を思いやる ・自然の中で動植物に親しみをもって大切にする

2、具体的な目標や計画

- ・ 子どもたちの生き生きとした活動を援助するため、チーム保育を実践し、保育者も園児も、共に生き生きと生きる幼稚園を目指す。
- ・ 日常的に園の周りの環境を生かした山保育を行い、体幹を鍛え、心も体も健康に育てる。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
2歳児から3歳児への切れ目のない対応(幼稚園接続保育)を推進する。	D	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度できなかった、2歳児の一時預かり事業を行いたいと思っていたが、コロナウイルス感染拡大の2年目となり、本来の子育て支援事業もできない時期があり、なかなか進められなかった。 ・実際に行うことについては町と相談が必要であるが、幼稚園独自のやり方を模索したいと思い、理事会ですでに提案している。また、預かり時間や費用などについても出来上がっている。 ・対象は2歳からの幼稚園児の下の子及びひよこ、うさぎ参加者 ・このことにより下の子を預けたい保護者が保育園と幼稚園の両方に預けるといことがなく、困らないようにしていきたい。

園の環境を整えるために、ICT化を進める	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の環境を整え、職員の仕事の負担軽減を図るために、ICT化を進めてきた。 ・昨年度までは指導要録に特化したICTを使っていたが、事務作業や、先生方の仕事を軽減するために、機能性の高いICT「パステルapps」を導入した。 そのため、検温や、預かり保育の予約、朝の出欠席の連絡等の電話がなくなり、PCですぐに確認ができるようになった。 また、一斉配信でのメール機能を使って配信したメールの開封確認ができるので、見ていない保護者に再度の連絡をすることもできる。 ・タブレットは現在、全員が個人持ちのものを続けて使っているため、購入の機会がなかった。 ・災害時にも使えるIP無線機を導入。これまでバスの連絡は個人持ちの携帯で行っていたが、個人負担であるので気になっていた。また、着信に気が付かないことが多かった。IP無線機は大きな声が直接聴こえるため、すぐに連絡がつく。また、園外保育などにも持っていき山の上でも使うことができるため安心している。
創立 70 周年のための準備を行う	A	<ul style="list-style-type: none"> ・町に一つの幼稚園として、70周年を記念するために早くから準備を行うために、理事・評議員会でも議題にあげ、記念事業として記念誌絵本を作成することに方針を決定した。現在絵本作家さんと打ち合わせを行い内容を検討している。 来年度には2回目の話し合いがもたれる。 ・今後は2年間のうちに記念式典をどのように持つかを考えていく。

4, 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型給付の幼稚園に移行し2年目を迎え、事務の仕事を再確認しながら行った一年であった。 今年もコロナウイルスの対策に追われたが、職員の連携で園内にコロナが発生することがなく、園児の安全と健康を守り、園生活がスムーズに行われるように心を砕いた。 また、丁寧に感染防止対策を行い園の運営をたゆまず行った。 ・ひよこ(子育てパーティー)と園庭開放は通常通り行った。幼稚園に慣れ、園児と触れ合う良い機会が多く多くの親子が集った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も先の見えない難しい情勢の中、教職員が協力し合って保育を行ってきた。 また幼稚園においでいただけない保護者のためには、各クラスの担任による毎月のポートフォリオ(まなびのものがたり)での園児の様子を伝えることができた。これは保護者からも大変好評である。保護者からの毎月のお返事も楽しみである。 また担任からの連絡を丁寧に行い日常的に保護者の不安をなくすように努めた。 ・70周年については、これまで幼稚園のために長くご協力くださった理事さんたちに感謝を込めて行いたい。どのように行うかゆっくり時間をかけて話し合っていきたい。
--	---

○結果(※)について

A	十分達成されている
(B)	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
2歳児から3歳児への切れ目のない対応(幼稚園接続保育)を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児の一時預かり事業を行いたい。(まずはうさぎ組の2学期から) ・実際に行うことについては幼稚園独自のやり方を模索したい。(制度を作っておいて柔軟に対応する。) ・対象は2歳からの幼稚園児の下の子及びひよこ、うさぎ参加者 ・このことにより下の子を預けたい保護者の助けとなるようにしていきたい。
保育の内容及び保育者の資質について丁寧に見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、長く勤務した教員の退職のため、新しい教員が入り体制が変わる。いままで阿吽の呼吸で行ってきたものを見直し、丁寧に打ち合わせや、下準備を行う。 ・また、新人の保育者を採用したため、保育の内容についても十分に力を発揮できるように丁寧にサポートしていく。 ・長く勤務しているすべての職員が、職場でのかかわりあいについて謙虚に見直し、マナーをもってお互いに尊敬しあいながら働くことによって、幼稚園の品格を大切にしていける。
創立70周年のための準備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・町に一つの幼稚園として、70周年を記念するために早くから準備を行っていく。 ・記念誌絵本の制作の下準備を続けて行う。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和4年4月15日(金) 13:00~14:00(時間)

出席者 評価委員(4)人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・適切である。教育目標にのっとり努力している。
- ・園児たちが喜んで園生活を楽しむ姿が見られ、相手を思いやる様子がうかがえた。教育目標通り実践できている。
- ・コロナ下において、外遊びがままならない子どもが多い中、山保育を中心に心身ともに健康で過ごしている。
- ・園児に対する保育、教育に対する評価項目がなかったのが残念。
- ・具体的な計画がわかりづらいので、内容を確認し実施することが必要。

2. 評価結果の内容は適切であったか

- ・ほぼ適切である
- ・先生方の日々の努力が、子どもたちの安全で安心できる環境を作っていると感じた。
- ・インクルーシブ保育については大変難しい問題であり、C評価は仕方ないのではないかと思った。
- ・コロナ下の困難な中での取り組みで、達成がBであると自己評価しておられる姿勢が、冷静であり、適切と思う。
- ・具体的な目標との差異があるので再考が必要である。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・適切であり、前向きである。
- ・将来を見据えて課題を設定している。
- ・多様化している社会に対応していくことは大変なことであるが、努力している様子が感じられる
- ・2歳児の一時預かりをぜひ実現してほしい。
- ・教員の体制変化に伴う対応が重要課題である。園児のケア、保護者への対応、教員のメンタルヘルス等
取り組む内容が多いが十分な対策をしてほしい。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・適切である。
- ・創立70周年は大きな歴史の歩みである。先生方だけでなく、理事・評議員も一緒になって考えていきたい。
- ・コロナウイルスの問題で文面より現実的に園の様子をうかがって、園児の日常(入園式・卒園式・運動会)を見てみたい。
- ・今後の活動に期待している。